

電子式メータによる検針のメリット

地下式メータ	電子式メータ
 <p>メータ位置の特定（雪が積もると特に困難）</p>  <p>雪を掘り起こしメータボックスの蓋を確認</p>  <p>蓋を開け水中検針器を使用して検針</p>	 <p>壁面に設置されている表示カウンタで検針</p>
<p><地下式メータ検針の問題点 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蓋の開閉や泥水のくみ上げ等時間と労力がかかる ・ 蜂や障害物など外的影響が大きい ・ 検針に要する器具（水中検針器やデレキ等）が必要 ・ 使用者自身での使用量の確認は困難 ・ 漏水確認は一定時間目視が必要 ・ 冬期（1～3月）は通常のメータ検針はしないため精算されない ・ 冬期中も転出者の検針や再検針は実施しており多大な労力がかかる 	<p><電子式メータ検針のメリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表示カウンタから容易に検針できるため時間と労力が大幅に軽減 ・ 天候や障害物などの外的な要因の影響が少なく安全に検針できる ・ 地下式メータ検針で使用する器具の携行不要 ・ 指針値等が全てデジタル表示で視認性と正確性が向上 ・ 使用者自身で使用量の確認が可能 ・ 漏水（流水）の確認が正確で容易 ・ 1年を通じて検針が可能 ・ 過去の使用状況（時間別・日別）を取得可能